

英語学習での困難の評価と指導の方法

～中高生の読み書きの困難を考える～

河野先生は子どもの読み書きの力を評価する「URAWSS(ウラウス)」を開発された先生で、書字障害研究の第一人者です。URAWSS は小学生の読み書き速度を評価します。この検査は読み書きが苦手な子どもたちに支援技術などを活用した支援を行うために作成されたものです。その後、2017年には中学生の評価も可能なURAWSS II、そして英語が苦手な子どもを理解するために「英単語の読み書き評価 URAWSS-English」を共同開発されています。

日本語での読み書きの困難のある子どもは英語にも苦勞をしますが、読み書き障害の有無にかかわらず英語の苦手な子どもが多くいます。そこで、今回は河野先生に英語学習についての困難をどう評価し、その評価に基づきどのような指導法があるのかをお話しいたします。

小学校で英語教育に携わる先生方、中学高等学校での英語を指導されている方々にお勧めの内容です。

日時： 2019年6月8日(土) 10:00～12:30(受付開始:9:30)

会場： 大阪医科大学 学Ⅱ講堂 定員：120名

対象： 教員、発達障害に関わる指導者、言語聴覚士、保護者など

講師 河野 俊寛先生 (金沢星稜大学人間科学部 教授)

河野先生は様々な分野に多彩な才能を發揮され、獣医師、中学校教員、特別支援学校教員、東京大学先端科学技術研究センター研究員を経て、現在は金沢星稜大学で教鞭をとられています。書字速度の発達研究、文字の読み書きやコミュニケーションに困難がある子どもに対してのテクノロジーを活用した支援臨床がご専門です。(博士(学術)、言語聴覚士、公認心理師、特別支援教育士 SV、獣医師など) 著書:小中学生の読み書きの理解(URAWSS II) atacLab、中学生の英単語の読み書きの理解(URAWSS-English) atacLab、「読み書き障害のある子どもへのサポートQ&A」読書工房、「学校でのICT利用による読み書き支援—合理的配慮のための具体的な実践」金子書房、「タブレットPCを学習サポートに使うためのQ&A」明治図書など多数。

参加費:3,000円 当日現金でお支払いください。

口座振込みによる入金はできませんのでご了承ください。

申し込み方法:大阪医科大学LDセンターホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/deps/ldc/index.html>からお申込みください。

お申込みを受付けますと、ldcenter-app@osaka-med.ac.jpより自動配信メールが送られます。メール受信の拒否などを設定されている方は、このメールアドレスを受信できるよう、設定の変更をお願いいたします。尚、お申込み後にキャンセルされる場合は、ldcenter-app@osaka-med.ac.jpにご連絡ください。

申し込み締め切り期日:6月1日

定員を超えたために、ご参加いただけない場合のみ、センターより連絡いたします。ご参加いただける場合にはこちらから連絡をすることはありませんので、そのまま、講演会におこしてください。また、講演会に関する新情報は大阪医科大学LDセンターホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/deps/ldc/index.html>にて提供いたします。

阪急電車をご利用の場合：京都線「高槻市駅」下車徒歩約10分

